

官報

號外

大正八年三月六日

木曜日

印 刷 局

第四十一回 衆議院議事速記録第二十號

帝國議會衆議院議事速記録第二十號
大正八年三月五日(水曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第十九號 大正八年三月五日

午後一時開議

第一 地租條例中改正法律案(田中隆三君外二名提出)

第二 耕地整理法中改正法律案(田中隆三君外二名提出)

第三 市制中改正法律案(下岡忠治君外四名提出)

第四 町村制中改正法律案(下岡忠治君外四名提出)

第五 府縣制中改正法律案(下岡忠治君外四名提出)

第六 郡制中改正法律案(下岡忠治君外四名提出)

第七 水產銀行設立二關スル建議案(鶴澤字八君外二名提出)

第八 延松鐵道速成二關スル建議案(長峰與一君外三名提出)

第九 能伏、五所川原間鐵道建設二關スル建議案(工藤卓爾君外四名提出)

第十 鶴岡、大泉間國有輕便鐵道敷設二關スル建議案(熊谷直太君外五名提出)

第十一 新見、庄原間輕便鐵道建設二關スル建議案(鶴澤凡平君外二名提出)

第十二 松本鐵道建設二關スル建議案(高島順作君外五名提出)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ガアリマス

一昨四日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

〔原田書記官朗讀〕

一昨四日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

沖繩縣ニ於ケル「マラリヤ」豫防撲滅二關スル建議案

提出者我如古樂一郎君 生田 和平君

金杉英五郎君 伊東 重君
設得久朝惟君 第一讀會

耕地整理法中改正法律案委員
委員長 中倉万次郎君 理事 高岡唯一郎君
中川幸太郎君

飯田 精一君
小川郷太郎君 鈴木 錠藏君

野口 孝治君

小川郷太郎君

高岡唯一郎君

中川幸太郎君

飯田 精一君

小川郷太郎君

事ハ小山委員、土屋委員杯カラノ希望條件アリマス、小山君ノ希望條件ト致シマシテハ、此二法案共ニ事衛生警察ニ關スル爲メニ、最モ注意セナケレバナラコトハ、人權ノ拘束、財產上ノ問題、是等ノ事ニ當局者ハ十分考慮サレテ、此法ヲ完全ニ施行シ得ルヤウニシテ貴イタイト云フ希望デアリマス、土屋君ノ希望ハ、此法ヲ完全ニ施行スル第段トシテ、市町村醫ト云フモノヲ殖シ、又學校醫ト云フモノヲ殖シテ、十分法ノ運用ト云フモノヲ與ヘルヤウニ致シタイト云フ事ト、モウツハ内務省其他ニ眼科醫ヲ置キマシテ、之ヲシテ時々各地方ヲ巡視セシムルヤウニアリタイト云フコトノ希望デアリマス、委員會ハ此兩君ノ希望ヲ採用致シマシテ、政府委員ニ申達致シマシタ所ガ、政府委員ニ於キマシテモ、至極同感ノ事アルカラシテ、是等ニハ注意シテ運ブヤウニシヤウト云フコトデアリマシタ、委員會ノ經過並ニ結果ノ大要、斯ノ如キ次第アリマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス

○岩崎動君 二讀會ヲ開クニ異議アリマセヌ

○議長(大岡育造君) 結核豫防法カラ決ヲ採リタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 二讀會ヲ開クコトニ決リマシタ

○議長(大岡育造君) 二讀會ヲ開クコトニ決リマシタ

○岩崎動君 直チニ結核豫防法ノ第一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告呂通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ直チニ第一讀會ヲ開キマス

〔「異議ナシ」下呼フ者アリ〕

トラボーレ豫防法案(政府提出)

第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ三讀會ハ省略セラレテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス――日程第七、

水產銀行設立ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス――提出者鶴澤宇八君

第七 水產銀行設立ニ關スル建議案(鶴澤宇

八君外二名提出)

水產銀行設立ニ關スル建議

水產銀行ヲ設立シ漁業者ノ資金融通ノ途ヲ開キ漁業ノ發展ヲ圖リ豊富ナル漁獲ヲ得セシメ安價ノ漁類ヲ市場ニ送ラシムルハ食糧補足ノ捷徑ナリト認ム依テ政府ハ速ニ水產銀行ヲ設立セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔鶴澤宇八君登壇〕

○鶴澤宇八君 唯今議題ニ上リマシタ水產銀行設立ニ關スル建議案ノ趣旨ヲ、簡單ニ一言申上げマス、諸君、凡ソ事業ト資本トハ、恰モ車ノ兩輪ノ如ク離ルベカラザルモノデアリマス、如何ナル有利ノ事業ガアリマシテモ、其資本ガ之ニ伴ハナケレバ、其目的其成功ハ期セラレナイデアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテ、農業者ニ次グベキ國民ノ大多數が從事シテ居リマス水產業者ニ對シマシテ、其資本機關ガ備ニテ居ラヌノアリマス、水產ノ振ハザル原因ハ全ク此ニ存スルノアリマス、國家ノ爲メニ甚ダ遺憾ニ堪ヘナインデアリマス、尤モ往年本院ニ於キマシテ此種ノ建議ガゴザイマシタノデ、當時政府ハ日本勸業銀行法、及農工銀行法ノ一部ヲ改正致シマシテ、水產業者ニモ貸付ガ出來ルヤウニ

ナッテ居リマスケレドモ、事實ハドウデアルカト云ヘバ、更ニ其效用ガ無イノアリマス、實效ガ現レテ居リマセヌ、ソレ故ニ私共ハ茲ニ純然タル水產銀行ヲ設立致シマシテ、此水產業者ニ對スル資本ノ途ヲ講ジタイト云フノデゴザイマス、今ハ人民ノ自由權利ニマデ立入リマシテ、此米ノ低落ヲ計タハアリマスケレドモ、更ニ其效果ヲ見ルコトガ出來マセヌノ大問題トナシテ居リマス、前寺内内閣ハ暴利令ヲ發シ、或ハ遂ニ内閣ハ瓦解シタ云フ始末デアリマス、現内閣ニ至リマシテモ、是等米價ノ低落ヲ期センガ爲メニハ、或ハ關稅ノ引下ヲ行ヒ、又外米ノ輸入ヲ企テ、色々手ハ盡シテ居ルヤウデアルガ、中ミ米ハ低落致シマセヌ、尤モ一週間以來稍低落ノ兆候ハ呈シテ居ルヤウデアリマスケレドモ、昨日アタリハ又上向ノ調子ニナッテ居リマス、前途如何デアリマセヌカ、下層社會ニ於キマシテハ、生活問題ト致シテ、極メテ不安ヲ懷キツ、アルノアリマス、私ハ此場合ニ於テ、此米價――食糧ノ調節ヲ圖ルニハ、澤山ノ魚類ヲ漁リマシテ、其魚類ヲ安ク市場ニ送テ、國民ニ米ノ代リニ澤山魚ヲ食ハセルコトガ、最良ノ方法デアルトスウ考ヘルノアリマス、我國ハ瑞穗國デアリマスカラ、往古ヨリ米ヲ產出致シタコトハ勿論デアリマセウ、併ナガラ其當時ハ多ク魚類ヲ以テ食用ニ供シタト思ヒマス、素盞鳴尊ハ海原ヲ治メラレダトアリマス、美保ノ關ニ鎮座マシマス事代主命ハ、毎朝一番鷄ヲ聞イテ出漁ナサル、其漁獲シタ魚ヲ以テ、其日々ノ食用ニ供サレタト聞イテ居リマス、此美保ノ關ニハ其當時ヨリ連綿トシテ行ハレテ居ル一事ガアリマス、或時鷄ガ宵鳴ヲシタ、ソレデ事代主命ハ一番鷄ガ鳴イタト思シテ漁ニ出掛けテ、鮫ニ片足ヲ食ハレテ跛トナタト云フ事デアリマス、サウ云フ事カラ其宵鳴ノ鷄ガ惡カタト云フノデ、爾來鷄ヲ飼ハナクナッタ爲メニ、何處デモ鷄ハ一羽モ無ケレバ、鷄卵モ無イ、如何ニ事代主命ガ漁業ニ御熱心デアッテ、御勵精遊バサレタカト云フコトガ推察スルニ足ルノアリマス、近クハ北海道ノ「アイヌ」ハモ確ニ魚バカリデ暮シテ居タト思フ、現ニ樺太ノ北部ニ棲息シテ居ル所ノ土人「オロチヨン」「ギリヤーク」人ノ如キ、樺太ガ我ガ領土トナラヌ以前ノ如キハ、確ニ米ハ食ハナカッタノアルハ魚バカリ食テ居タノデアル、唯今デモ魚ノミラ以テ生活シテ居ル者ガ澤山アル、同地方ニ居住シテ居ル所ノ日本人ノ中ニ在リマシテモ、冬期航海ノ不能ノ場合ニ

テ、米ニ缺乏スル時ハ、魚ノミヲ以テ全ク一月ヤ三月位暮シテ居リマス、是ニ由テ見マスレバ、魚ノミヲ以テ生活シテモ物デアル、而モ天產物デアリ、無盡藏デアル、米麥作ノ如キ天災地變ノ爲メニ凶作ノ虞ガナイノデアリマス、亞米利加合衆國ニ於テ昨年七月中旬、恰モ私ガ米國漫遊中デアリマシタ、其當時戰時食用ノ不足ヲ補ハントシテ、魚ヲ漁ルコトヲ獎勵シ、又其魚ヲ食フコトヲ頻ニ勸メテ居シタ、米國ノ如キ麵匏ト肉食ヲ以テ生活本位トセラル、國デスマニ既ニ然リデアリマス、況ヤ我國ノ如キハ、此魚ハ副食物ノ第一ト致シマシテ、國民一般ニ食慣レテ親シニ居ルノデアリマス、勸ムルマデモナク此魚ヲ十分ニ供給致シマスル以上ハ、米食ノ代リニ需要スルト云フコトハ、火ヲ嗜ルヨリモ明ナ事デアリマス、私ハ樺太ニモ内地ニモ漁業ヲ經營シテ居ル者デアリマス、漁夫ト云フモノ、食料ハ大抵一日一升ヲ要スルノデアリマスガ、此漁獲前ハサウデアリマセスガ、漁獲後ニナリマスト、魚ヲ食フ爲メニ七合位ニ減ズルノデアリマス、内地ノ魚ノ高イ處デハ、其割合ニ魚ヲ食フコトが出來マヌカ、一シマスルト、驚ク勿レ實ニ千八百二十五万石ト云フ多額ノ合五勾位ハ違フノニアリマス、之ヲ全國ノ國民五千万ノ人ニ、一合宛ノ割合ヲ以テ魚ニ依シテ節スルコトニ致シマスト、餘ノ人口ノ増加率ヲ示シテ居ルヤウデアリマスガ、此耕作地ハ果シテ能ク此人口増加ニ伴フ所ノ増加ヲ爲スコトガ出來ルヤ否ヤ、又此產額ガ其人口ノ増加ニ伴ヒ得ルヤ否ヤ、甚ダ疑問タラザルヲ得ナインデアリマス、國民ガ生活問題ト致シマシテ憂慮セラル、ノモ、蓋シ偶然デナイコトデアラウト思ヒマスノデス、私ハ此國民ノ心配セラル、所ノ食糧問題ヲ根本的ニ圓満ニ解決致サントスニハ、魚類ヲ勸メルト云フコトガ、最モ最良ノ捷徑デアルト考ヘルノデアリマス、ニナックナタノデアリマス、舊式ノ尋常ノ漁具デハ、中ニ漁獲ガ六ヶ敷クナタノデアリマス、新智識モ要スレバ、又漁具ノ改良ト云フコトモ要スルノデアリマス、隨テ非常ナル多額ノ資本デナク、退歩シタト申ス者ガアルカ知レマセスガ、免ニ角削巧ニナックナタノデアリマス、四面環海ノ我國デアリマスカラ、沿岸ノ廣イ島々、數多イ漁場ノ漁業主ニ十分ナアル資本ヲ供

給致シタナラバ、此漁獲上云フモノハ立所ロニ増大シマシテ、今日ノ高イ魚ヲ食料ニ供スルト云フコトハ、到底望メナイコトアラウト思ヒマスキレドモ、ソレハ需要供給等ノ關係デアリマシテ、唯今申上ダマシタ通り、資本ヲ充實致シマシタ計畫ヲ以テスレバ、非常ニ安イ所ノ、米ニ代用スベキ魚ヲ供給シマシテ得ラレルノデゴザイマス、一例ヲ以テ申上ダマスレバ、彼ノ鑄山業ノ如キハ、今ヨリ三十年前マデハドウデアリマシタラウカ、之ヲ世間デハ山師ト稱ヘテ、一般ノ國民ヨリ、又資本家銀行家等ヨリ、嫌忌サレ、指彈サレタノアリマス、左レバ資本ヲ投ズル者ガ少ナカタ爲メニ、此鑄山業者ハ中途ニシテ止メ、又其目的ヲ達スルコトガ出来ナカタ者ガ多カタノアリマス併ナガラ此鑄山業タル、金、銀、銅ヲ始メト致シマシテ、鐵、石炭、何レモ國家ノ重要必需品デアリマス、其產額ト云フモノハ國家ノ消長興亡ニモ關スル重大ノ意義ヲ有スルモノアリマス爲メニ、政府ニ於キマシテモ棄置クコトガ出來マセヌデ、是ガ助成上日本興業銀行ヲ作テ、是等鑄業者ニ資本ヲ供給スル途ヲ講ズルコトニナリマシタ爲メニ、今日ノ盛運時ニ進ンダノアリマス、三井、三菱、久原藤田、古河等ノ鑄山ニ於テ利益ヲ得タコトモ尠ナカラスト思フ、曩ニ危險視シタル鑄山業ノ今日ニ至タコトハ、全ク政府ノ施設ニ依テ、斯ノ如キ異常ノ變化的進歩ヲ來シタ譯デアリマス、我が國ノ金融界ハ、此水産業ノ智識ノ幼稚ナル、其愚カナル爲メニ、我ガ水産業ノ發展ヲ見ルコトガ出来ナカタノアリマス、充實ナル資本ヲ以テ計畫スル以上ニハ、此水産業程確實ナルモノハ無イノアリマス、爲ニ政府ニ於キマシテモ速ニ水産銀行ヲ設立シテ、水産ヲ保護獎勵シ、水產ヲ旺盛ナラシメテ、一面ニハ食糧ノ補足ト爲シ、又一面ニハ海外貿易ノ資料タラシメンコトヲ望ムノアリマス、諸君、此問題ハ私外二名ノ提出ニハナシテ居リマスキレドモ、此實體ハ即チ我ガ各派ノ議員ノ仰間ノ組織シテ居ル所ノ水產同志會ニ於キマシテ、滿場一致ヲ以テ可決ノ上本案ヲ提出スルコトニナシタノアリマスカラ、願クハ諸君ノ御同意ヲ得テ通過サレンコトヲ切ニ希望スル所以アリマス（拍手起立）

卷之三

延松鐵道速成ニ關スル建議

○議長(大岡育造君) 提出者ガ見エマシタ
○岩崎勲君 然レバ動議ヲ取消シマス
○議長(大岡育造君) 日程第八、廷松鐵道速成ニ關ス
ル建議案、長峰與一君

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(大園育造君) 御異議ガアリマセヌケレバ、動議ノ
如ク決シマス

○岩崎勲君 日程第八ニ對シテ、延會ノ動議ヲ提出致シ

力

١٦

○議長（大岡育造君） 岩崎君の動議ニ御異議アリマセヌ
藤田、古河等ノ鑛山ニ於テ利益ヲ得タコトモ尠ナカラヌト
思フ、曩ニ危險視シタル鑛山業ノ今日ニ至タコトハ、全ク
政府ノ施設ニ依テ、斯ノ如キ異常ノ變化的進歩ヲ來シタ
譯アリマス、我が國ノ金融界ハ、此水産業ノ智識ノ幼稚
ナル、其愚カナル爲メニ、我ガ水産業ノ發展ヲ見ルコトガ出
來ナカッタノアリマス、充實ナル資本ヲ以テ計畫スル以上
ニハ、此水産業程確實ナルモノハ無イニアリマス、爲ニ政
府ニ於キマシテモ速ニ水産銀行ヲ設立シテ、水産ヲ保護獎
勵シ、水產ヲ旺盛ナラシメテ、一面ニハ食糧ノ補足ト爲シ、
又一面ニハ海外貿易ノ資料タラシメンコトヲ望ムノアリマ
ス、諸君、此問題ハ私外二名ノ提出ニハナツテ居リマスキレ
レドモ、此實體ハ即チ我ガ各派ノ議員ノ仰間ノ組織シテ居
ル所ノ水産同志會ニ於キマシテ、滿場一致ヲ以テ可決ノ上
本案ヲ提出スルコトニナダノアリマスカラ、願クハ諸君ノ
御同意ヲ得テ通過サレンコトヲ切ニ希望スル所以アリマ
ス（拍手起立）

○長峰與一君 極簡單ニ説明ヲ申上ダマスルガ、本鐵道ハ宮崎縣下ノ延岡ヨリ三田井ニ至リマシテ、熊本縣下馬見原濱町ヲ通ジマシテ、松橋ニ於テ九州ノ本線ニ合シマスル鐵道アリマス、此沿線ニハ官有並ニ民有材野數万町歩ニ瓦リマシテ、此山林ヨリ產出致シマスル堅木茲ニ良材ハ、其質ニ於テモ量ニ於テモ全國著名ナモノアリマス、又此沿線ニ於ケル鑛山業ニキマシテモ、御承知ノ通り日平横峰ノ銅鑛並ニ見立ノ錫鑛ガアリマシテ、其產額ノ大ナルコト、其設備ノ完全ナル點ニ於テ、斯業界ニ著名ナ次第ゴザイマス、此產業ヲ開發シマシテ、此產業ヲ助長センガ爲メニ、此地方有志ハ皆テ私設鐵道ノ經營ヲシタノデゴザイマスケレドモ種々ナル事情ノ爲メニ未ダ現實ニ至リマセスガ、之ヲ以テモ此地方民ガ、此沿線ニ對スル鐵道ノ必要ヲ感ジテ居ルト云フコトガ明カアリマス、又一方熊本縣ニ於キマシテハ、濱町ニ達シテ居リマス私設鐵道ヲ延長シマシテ、馬見原ニ達スル鐵道ヲ經營セントシツ、アルノデアリマス、之ヲ以テ見テモ、此地方ガ營利線デ既ニ成算ガアルト云フコトヲ證シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キコトヲ綜合シテ考ヘマスレバ、當然此處ニハ政府モ考慮ヲ廻シマシテ、鐵道開通ノ必要ノ有ルト云フトコハ無論ノ事アラウト思フノデア

宣報虎外

大正八年三月六日

衆議院議事速記錄第二十號

延松鐵道速成ニ關スル建議案

○岩崎勳君 本案ハ水產講習所内ニ淡水科特設ニ關ス
ル建議案外一件ノ建議案委員ニ併セテ付託サレンコトヲ
望マス

ヲ以テ見テモ、此地方が營利線デ既ニ成算ガアルト云フコ
トヲ證シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キコトヲ綜合シテ考ヘマ
スレバ、當然此處ニハ政府モ考慮ヲ廻ラシマシテ、鐵道開
通ノ必要ノ有ルト云フトコハ無論ノ事ニアラウト思フノデア

リマス、デ元來九州ノ東部並ニ中央部ノ、殊ニ宮崎縣地方ニ於キマシテハ、生産ノ要素ニ於テハ私ガ常ニ述べマス通リ

ニ、他ノ地方ヨリモ優レテ居ルノアリマス、伊ナカラ中央
政府ノ顧ニル所ガ常ニ薄クアリマシテ、恩澤ニ浴スルコトガ
常ニ薄弱アルト云フコトハ、縣民ノ大ニ遺憾ニ感ジテ居ル。

次第デアリマス、デ今マ日豊線ノ開通モ近クナシテ居リマシテ
幾分満足ノ意ヲ表シテ居リマスケレドモ、世運ノ隆盛ト產

業ノ發展ハ、マダ之ヲ以テ満足スルモノナシ。今ヨコサイマセヌ。ヤ又鐵道ハ縱貫鐵道ヨリ横斷線ニ移ラントシツ、アル時代ニ於テハ、特ニ是等ノ地方ハ、政府ノ宜シク以テ著眼シテ。

鐵道ヲ敷設スベキ場所デアラウト思フノデアリマス、而シテ此線路ハ、番ニ熊本宮崎ノ兩縣ヲ接續致シマスル簡単ナル。

線デハナイノデアリマシテ、地理上ヨリ見テモ、鐵道ノ政策ヨリ見テモ、九州ノ中央横斷線トナルノデアリマス、其鐵道ノ價值ヨリシテ、最も速ニ政府ハ建設ノ事ニ著手セラム。

レンコトヲ希望シテ止マヌ次第ゴザイマスガ、何卒満場ノ趣旨ヲ徹底シタイ考デゴザ
諸君ノ御賛成ヲ得テ、此建議ノ趣旨ヲ徹底シタイ考デゴザ

イマズ(拍手起立)
○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託
セラレントラ希望ミマズ

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマナカ
又カ

○議長（大岡育造君） 御異議なレバ、議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ決シマシタ——日程第九、能代、五所川原

原間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者
工藤卓爾君

第九 能代、五所川原間鐵道建設ニ關スル建議
案(工藤卓爾君外四名提出)

能代、五所川原間鐵道建設ニ關スル建議

一秋田縣下能代ヨリ青森縣下五所川原ニ至ル鐵道
右線路ハ多ク日本海海岸ニ沿ヒ沿道海產、林產、鑛產
ニ富ミ農產亦少カラス羽越沿岸線ト接續一賈シテ如上

ノ開発ニ資スルノ極メテ急ナルヲ認ム政府ハ速ニ調査シ
テ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔拍手起ル〕

○工藤卓爾君 本建議案ノ鐵道ハ、建議案ニ記載シテアル所リマスルガ如ク秋田縣能代ヨリシテ、青森縣五所川原ニ達道デゴザイマス、御承知ノ通り日本海ニ面シテ居ル所ノ鐵道ハ、一定ノ系統ガゴザイマシテ、即チ山陰道ノ端ヨリ東北ニ走リマシテ、羽越ノ沿岸ニ連シテ居ルノデゴザイマス、故ニ此系統的ノ線路ヲシテ首尾一貫セシメント致シマスニハ、宜シク青森縣ニ這入リマシテ、奥羽線ノ幹線ト結著ケナレバ、ナラヌト云フコトニナシテ居ルノデゴザイマス、所ガ今日ノ現狀ハ如何デアルカト申シマスレバ、此日本海ニ向シテ居ル所ノ鐵道ハ、秋田縣能代ニ至テ盡キテ居ルノデゴザイフス、故ニ之ヲ首尾一貫セシムル爲メニ、其盡キテ居ル所ノ能代驛ヨリシテ、五所川原ニ達セシメント欲スルノデゴザイマス、斯ル、此五所川原ト申シマスル處ハ如何ナ處デアルカト申シマスレバ、奥羽線ノ幹線ヨリ五所川原マデ、日本海ニ向シテ進ル間ハ七十七哩アリマシテ、此處ニハ鐵道ハ斷絶シテ居ルノ如ク奥羽線ノ幹線ヨリ五所川原マデ、日本海ニ向シテ進ハシテ居リマスルケレドモ、其五所川原ヨリシテ能代ニ至ル間ハ七十七哩アリマシテ、此處ニハ鐵道ハ断絶シテ居ル所ノ鐵道ノ系統線ヲシテ首尾一貫セシメタイト云フコトガ、即チ此建議案ノ骨子トナシテ居ルノデゴザイマス、以上シテ居ル處デゴザイマシテ、農產モ亦尠カラヌノアリマス、今ハ地形ノ上ヨリ論ジマシタル次第アリマスルケレドモ、少シ内容ニ立至シテ觀察ヲ致シテ見マスルト、此能代ヨリ五所川原ニ達スル所ノ七十七哩ノ間ハ、水產、林產、礦產ニ富ンデ居ル處デゴザイマシテ、農產モ亦専カラヌノアリマス、今日統計ニ現レテ居ル所ヲ見マスルト、其等ノ產額ヲ合セマスルシテ、八百万圓ニ達シテ居ルト云フコトデゴザイマス、今日鐵道ガ開ケマセヌデ、交通不便ナル時ニ於テスラ、既ニ斯ノ如キ次云フコトハ、毫モ疑フ容レザル事實デゴザイマス、斯ノ如キ次第アリマスルニ依シテ、此箇處ニ鐵道ヲ建設セラレントコトヲ希望スルト云フコトガ、即チ此建議案ノ出テタル所以デゴザイマス、ドウカ満場ノ諸君、幸ニ御贊成アランコトヲ希望致

○議長(大岡育造君) 岩崎君の動議ニ御異議アリマセヌ
セラレントヲ望ム

○議長(大岡育造君) 岩崎君の動議ニ御異議アリマセヌ
カ

〔「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ動議ノ如ク決シ
マス——日程第十、鶴岡、大泉間國有輕便鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者熊谷直太君
望ム

第十 鶴岡、大泉間國有輕便鐵道敷設ニ關スル建議案(熊谷直太君外五名提出)

鶴岡、大泉間國有輕便鐵道敷設ニ關スル建議
一山形縣下鶴岡ヨリ大泉ニ至ル輕便鐵道
右鐵道ハ產業ノ發展ニ資シ交通機關ノ不備ヲ補ハムカ
爲急設ノ必要ヲ認ム政府ハ速ニ之ヲ敷設セラレムコトヲ
望ム

右建議ス

〔熊谷直太君登壇〕

〔拍手起立〕

○熊谷直太君 唯今議題トナシテ居リマス鶴岡、大泉間國有輕便鐵道敷設ニ關スル建議案ニ就テ、建議ノ趣旨ヲ最モ簡單ニ申上ダテ置キマス、本鐵道ハ山形縣鶴岡町、即チ羽越沿岸線ヨリ分歧シマシテ、同縣ノ東田川郡山添村ヲ經マシテ、同縣同郡大泉州ノ大鳥ト云フ處へ達シマスル輕便鐵道アリマス、其哩數ハ殆ド二十餘哩アリマスガ此間ニハ大馬鑓山、日出鑓山ト云フヤウナ有名ナル銅山ガ澤山アリマス、尙ホ其外朝日嶽ノ北ニハ、近來調査スル所ニ依リマスト、非常ナル邊鄙ノ場處デアリマシテ、山嶽重疊致シテ居リマス爲メニ、交通ノ便ト云フモノガ殆ド缺ケテ居リマシテ、amas、其他此方面ヨリ年々產出スル所ノ木材、薪炭、生絲、米、蘭卜云フモノガ多額ニ產出スルノデアリマス、然ルニ此地方ハ非常ナル邊鄙ノ場處デアリマシテ、山嶽重疊致シテ居リマス、若シ此建議案ニシテ幸ニ通過シ、政府ガ輕便鐵道ヲ敷設スル曉ニハ此線路ガ羽越沿岸線ノ榮養線トナルモノデアリマシテ、國家ノ不幸是ヨリ大ナルモノハ無イノデアリマス、若シ此建議案ニシテ幸ニ通過シ、政府ガ輕便鐵道ヲ敷設スル曉ニハ此線路ガ羽越沿岸線ノ榮養線トナル角、即チ延松鐵道ニ關シマシテ御慮ニナダ通り、兎角僻遠ノ地ニ於キマシテハ、交通不便ノ爲メニ、折角ノ天產物ト

云フモノモ其儘ニ致シマシテ、國家ノ幸福ト云フモノヲ進メ

ルコトガ出來ヌノハ、此我ガ地方、即チ庄内地方ニ於テモ亦然リデアリマス、願クハ満場一致ヲ以テ御賛同アランコトヲ御了解下サレマシテ、満場一致ヲ以テ御賛同アランコトヲ希望シマス

○岩崎勲君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセセラレンコトヲ希望シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託希望シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセセラレンコトヲ希望シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ、動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、新見、庄原間輕便鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——提出者湯淺凡平君

第十一 新見、庄原間輕便鐵道建設ニ關スル建議案

湯淺凡平君外二名提出)

新見、庄原間輕便鐵道建設ニ關スル建議案
湯淺凡平君外二名提出)

右建議ス

〔湯淺凡平君登壇〕

○湯淺凡平君 此建議案ハ前ノ四十議會ニ於キマシテ、政府ハ速ニ岡山縣下苦田郡津山ヨリ阿哲郡新見ニ至ル輕便鐵道線路ヲ延長シテ廣島縣下比婆郡庄原ニ至ル藝備鐵道聯絡線ノ建設ニ着手セラレムコトヲ望ム

〔湯淺凡平君登壇〕

○湯淺凡平君 此建議案ハ前ノ四十議會ニ於キマシテ、新見ヨリ廣島縣ノ三次ニ至リマス所ノ輕便鐵道ヲ、政府ニ於テ速ニ敷設ニ着手シテ貰ヒタイト云フ趣旨ノ案デゴザイマス、唯ニ此中ニ庄原マデハ、私設線ノ藝備鐵道ガ、此線路ヲ成ベク速ニ敷設シテ貰ヒタイト云フノ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、此線路ハ申スマダモナク、山陰山陽ノ兩道ニ於テ最モ樞要ナル所ノ地方、之ヲ遮断致シマシテ、日本海ト瀬戸内海トヲ連絡致シマスル所ノ、最モ重要ナル線路

ノ藝備線ガ延長シテ參リマスノデ、其間ガ唯ニ僅カ三十餘

哩缺ケテ居ルト云フコトノ爲メニ、地方人民ハ非常不不便

ヲ感ズルノミナラズ、鐵道本來ノ能力ヲ發揮スル上ニ於テ

モ、甚シキ不經濟ト不便利ガアルト云フコトハ、申スマデモ

ナイノデアリマス、此線路ガ完成致シマシタガ爲メニ、是等

ノ地方ニ於キマスル所ノ產業、交通、人文發達ノ上ニ多大

ノ貢獻ヲスルモノガアルト云フコトハ、既ニ前議會ニ於テ説

明致シマシタル通リデアリマス、而シテ輕便鐵道ト申シマス

ルモノハ、甚ダ營業上不利益ノモノガアリマスルデ、各處ノ

私設或ハ官設ノ輕便鐵道ノ經濟ヲ調べテ見マシテモ、甚ダ

有利ナモノヲ見出スコトニ苦ムノデアリマスガ、獨リ此線路

ニ於ケル所ノ輕便鐵道線ト申シマスルモノハ、非常ニ利益

ヲ擧ゲテ居ル、既ニ本年ノ利益配當モ九朱以上ニ上ルト云

フヤウナ盛況ヲ呈シテ居ルノデアリマスカラ、此線路ヲ敷設

スルト云フコトハ、線路自身ノ經濟カラ申シマシテモ、餘程

多望ナル所ノ線路デアルト云フコトハ、申上ダテ差支ナイン

デアリマス、而シテ岡山縣ニ於テハ、嚮ニ陰陽連絡線、即チ

岡山ヲ起點トシテ鳥取縣米子ニ至リマス官線が敷設サレ

マスコトニナリマシテ、引續イテ智頭ヨリ新見ニ至ル輕便線

モ敷設サレル、總テ同ジ地勢、同ジ國民ノ狀態ニ居リマス

所ノ廣島縣ニ於テハ、僅カ縣ガ異シテ居ルガ爲メニ、一方ニ

ハ一時ニ左様ナ澤山ノ鐵道ガ敷設サレテ居ルニ拘ラズ、廣

島縣ノ側ニ於テハ、更ニ是等ノ恩恵ヲ政府ヨリ受ケルコト

ガ出來ナイト云フコトハ、甚ダ廣島縣ノ人民ニ取テ羨望ニ

堪ヘナイト申スヨリハ、一面ニ於テハ甚ダ其平等ナル待遇ニ

與ラヌコトヲ怨ンデ居ルヤウナ有様デゴザイマス、左様ナ次

第デアリマスカラ、何卒政府ニ於キマシテハ、此建議案ノ趣

旨ヲ容レテ、速ニ工事ニ着手サレルト云フコトニシテ貰ヒタ

イ、是ガ建議案ノ趣旨デゴザイマス、願クハ前年通り、満場

ハ近々起工スルコト、思ヒマスノデ、更ニ庄原ヨリ新見ニ至

ル間ノ線路、多分三十餘哩ニ過ギナイモノト思ヒマスガ、此

マス、唯ニ此中ニ庄原マデハ、私設線ノ藝備鐵道ガ、此

更ニ三次ヨリ線路ヲ延長スルコトニ相成リマシタ爲メニ、是

ハ近々起工スルコト、思ヒマスノデ、更ニ庄原ヨリ新見ニ至

ル間ノ線路、多分三十餘哩ニ過ギナイモノト思ヒマスガ、此

〔丸山嵯峨一郎君登壇〕

○丸山嵯峨一郎君 松本鐵道建設ニ關スル建議案ノ委員會ノ結果ヲ御報告申上ダマス、此鐵道ニ就キマシテハ提

出者ノ說明モアリマシテ、長野縣松本カラシテ、新潟縣糸魚川ニ通ズル線ニナリマス、此間ニ松本カラ大町ト云フ處マ

川ニ通ズル線ニナリマス、其大町カラシテ糸魚川

デ既ニ輕便鐵道ガ出來テ居リマス、政府委員ノ御

マデハ四十二哩許リノ距離ニナシテ居リマス、政府委員ノ御

意見ヲ承リマスルト、此鐵道ハ一哩十一万四千圓許ノ計

算デ凡ソ四百七十万二千圓許リテ出來ル、サウシテ其間ニ

困難ナ場處ト申シマシテモ、斷續シタル場處ヲ計算スレバ、

二三哩シカ無イト云フヤウナコトデ、尙ホ手廻リ次第、此鐵

道ハ必要ト認メルニ依テ豫算ノ範圍内ニ於テ計畫ヲ立ツ

ル、斯様ナ御意見デアリマシタ、此案ニ就テハ殊ニ委員諸君

ノ大歡迎ヲ受ケテ居リマシテ、其建議案ノ中、文字ノ上ノ

修正ガアタノミデアリマス、其文字ノ修正ハ「政府ハ速ニ本

鐵道敷設ノ計畫ヲ立テ」云々トアル所ヲ、其「速ニ」ト云

字ハ少シ不徹底ノ文字デアズ、又今年度ニ於テ速ニト云

フヤウナコトニモ相成ラヌ譯デアル、既ニ前議會ニ於テハ次

年度カラシテ計畫ヲ立テルヤウニト云フ案が本院ヲ通過シ

テ居ルノデアリマスカラ、此「速ニ」ト云フ二字ヲ除イテ「政府

ハ次年度ニ於テ必ズ本鐵道敷設ノ計畫ヲ立て、以テ地方

無限ノ富源ヲ開發シ國家經濟ノ發達ヲ圖ラレムコトヲ望

ム」斯ウニ云フコトニ修正致シマシテ、其他ニ於キマシテハ、委

員諸君が非常ノ御熱心ヲ以テ審査ヲ爲シタ末ニ、滿場一

致ヲ以テ可決サレタノデアリマス、宜シク贊成セラレンコトヲ

希望致シマス

○岩崎勲君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託

セラレンコトヲ希望シマス

○議長(大岡育造君) 御異議ナシ

